

森林パトロール通信

平成26年 第 3 号 平成26年6月16日発行

遊々の森



平成24年度に中泊町立中里中学校と協定を結んだ「遊々の森※（あすなる自遊モリ森）」での体験活動が今年度もスタートしました。

※ 遊々の森とは…森林環境教育の推進を目的とした森林教室、体験活動などのフィールドを提供。

6月3日（火）、森林教室及びヒバの空中取り木苗作製体験を開催し、1年生65名が参加しました。



午前中は中里中学校の体育館で森林教室を行いました。始めにパワーポイントにより、森林の役割、中泊町の町木であるヒバについて、林野庁の仕事内容などを学習しました。その後、空中取り木苗の作製練習をはじめ、輪尺や測竿など道具の使い方や、樹木の種子や木材の重さについても学習しました。

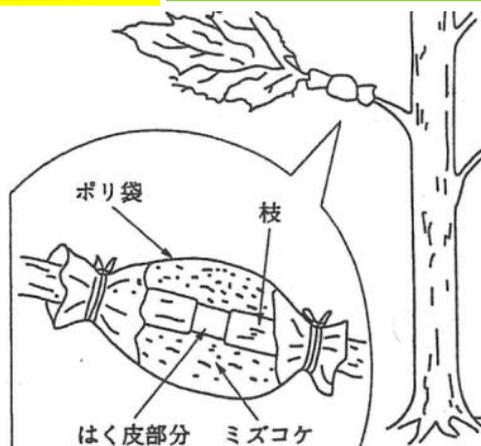


空中取り木とは

取り木とは、植物の人工的繁殖方法の1つで、茎の途中から根を出させます。

利点

- ① 約5ヶ月程度の短期間で山行き苗の生産ができる。
- ② 作りたい大きさの苗ができる。
- ③ 植栽後の活着が気候に影響されにくい。
- ④ 苗畑が不要で、作業が易しく誰でも生産できる。



午後は今泉山国有林に移動し、午前中に学習した苗木づくりを実践しました。

生徒たちは暑い中、苗木作りをはじめ、測竿で木の高さや取り木の長さを計測して、野帳に記載する森林調査体験にも真剣に取り組みました。

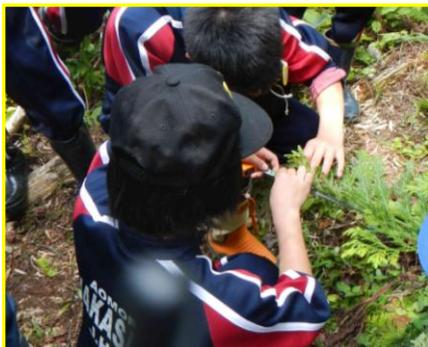
また、早く作業が終わったグループの生徒たちは職員に植物の種類を教えてもらったり、笹舟の作り方を教えてもらったりと、普段入ることのない国有林内での活動を楽しんでいました。



はく皮の様子



水苔を巻き付けている様子



取り木の長さを測って野帳に記入…

今回作製した空中取り木から発根して苗木になるのは、3～4ヶ月後で、秋には空中取り木苗を植栽する体験活動を実施します。うまく発根していますように…。



津軽森林管理署金木支署 担当：木村 勝一

☎0173-53-3115 FAX 0173-53-3197